

3 JR 新検見川地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	79.8ha	
旅客施設（3000 人/日 以上）乗降客数	JR 新検見川駅	46,092 人（平成 30 年度）
	京成検見川駅	4,043 人（平成 30 年度）
バス便数	新検見川駅南口	353（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
	新検見川駅	280（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
生活関連施設数	10 施設	
生活関連経路延長	約 3,230m	
500m 圏人口	8,699 人	※JR 新検見川駅を中心に 500m 圏の範囲で算出 （2015 年国勢調査 4 次（500m）メッシュ）
500m 圏高齢者数	1,859 人	
500m 圏高齢化率	21%	
従前の基本構想から の主な変更点	・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大 ・京成検見川駅を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

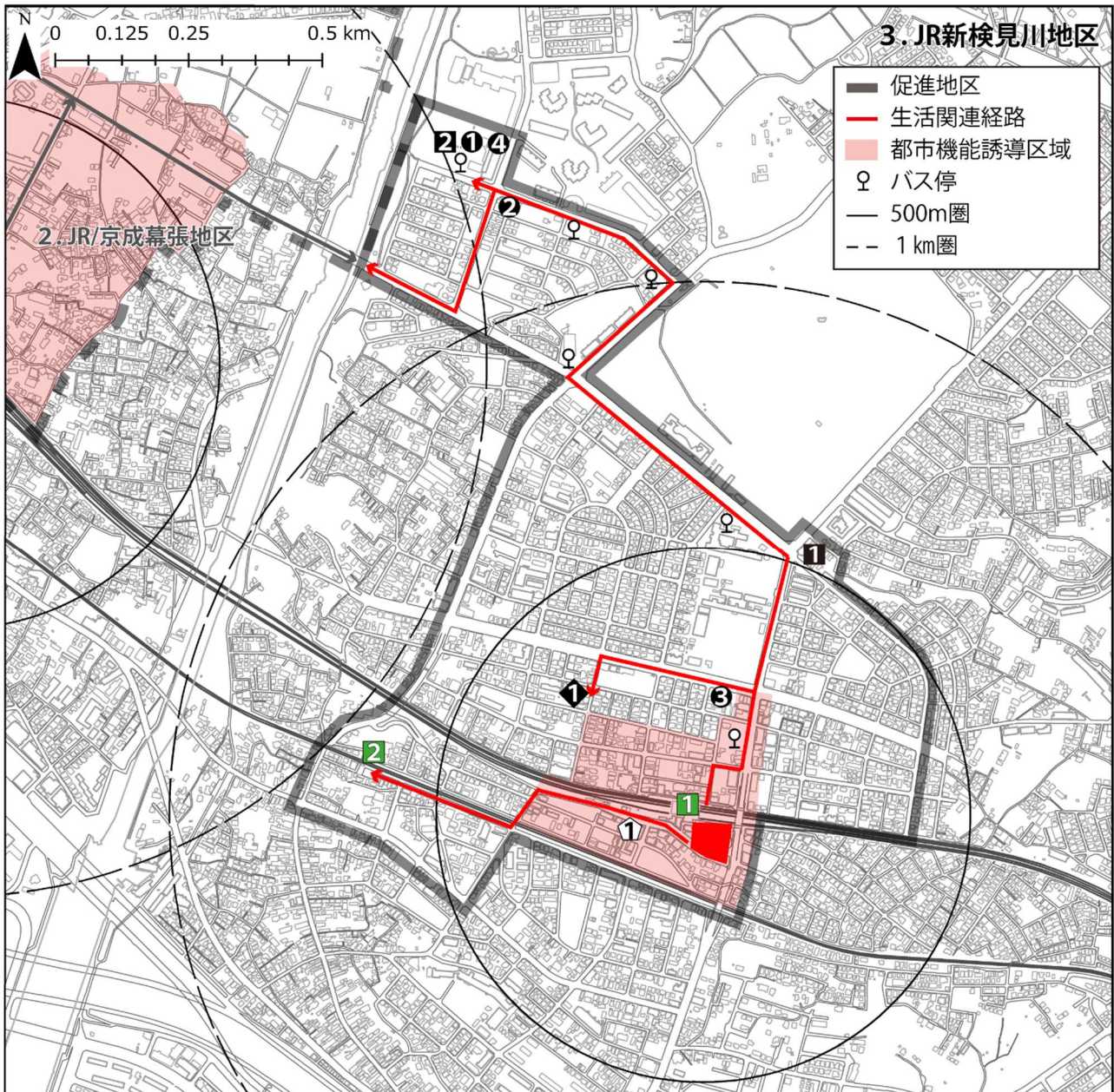
JR 新検見川地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率は平均的な地区です。駅から500m程度の範囲内に、大規模店舗が立地しています。また、駅から1km以上離れた場所に、花見川区役所など公共施設が集積しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅周辺に都市機能誘導区域が設定されています。

JR 新検見川駅は、乗降客数が比較的多い駅です。バス便数も多く、北口側はさつきが丘団地、西小中台団地、花見川区役所方面へ、南口側からは検見川浜駅方面へのアクセスが充実しています。駅北口からバスロータリーまでは200m程離れており分かりにくい上に、自動車と歩行者が錯綜しているとの声があり、案内の充実及び安全の確保が求められます。また、駅構内の一般トイレ入口には階段があることから、バリアフリー化が求められています。

京成検見川駅周辺は歩道のない道路が多く、安全な移動への配慮が必要です。また、JR 幕張駅との駅徒歩圏が重なっており、花見川区役所周辺などへの連続的な移動への配慮が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	記号	施設名称
旅客施設	1	JR 新検見川駅
	2	京成検見川駅
公共施設	1	花見川区役所 ※1
	2	花見川区役所前郵便
	3	千葉花園郵便局
	4	花見川市税出張所 ※1
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター花園
保健施設・病院	1	朝日ヶ丘医院
	2	花見川保健福祉センター
大規模店舗	1	西友新検見川店

※は同一建物内



JR 新検見川駅駅前広場



京成検見川駅